

第4回彩の国ミュージックフェスティバル



実施者:一般社団法人 友音音楽協会

社会や地域の課題

ミュージックフェスティバル・ストリートピアノ・ピアノ試弾会を開催して、①コンサートなどの音楽イベントは、コロナ前に比べ、楽ライブが減少。特に中・小規模が減少。②回復傾向に有るものの、コロナ禍の影響から埼玉県出身、在住、在勤の音楽家・音楽愛好家の活動の場が縮小している。③音楽家及び芸術家と地域住民との新たな音楽交流が縮小している。④地域の知名度向上・町おこし等に繋がるイベントの創造性に課題を感じます。

取組概要及び成果

①12/16・12/17のファーストステージ(ストリートピアノ)と12/23のセカンドステージ(一般)フィナルステージ(プロ)を小中規模のライブ型コンサートとして開催出来ました。

②地元住民と音楽家・愛好家が多数参加のストリートピアノとフェスティバルを開催し、コロナ禍の影響で縮小している音楽活動の場を創出する事が出来ました。

③今回のイベントは、音楽家及び愛好家と地域住民との交流の場を創出し拡大出来ました。従来のストリートピアノの持ち方(マナー違反・長時間の演奏・ユ―チューバーとその取り巻きによる交通妨害、騒音の問題等)に対する、厳しいご意見も有り主催者と利用者のマナーが問われています。当協会はそのような問題点に対応し、解消を目指して開催する者であると、説明し信頼を得る事が出来ました。

④ストリートピアノからフェスティバルに至るストーリー性の有る進行と、クラシックからポピュラー・ジャズ等幅広いジャンルと、ソロ演奏とアンサンブルを織り交ぜ、埼玉県のマスコット、さいたまっちと、コバトンも参加し、地域の知名度向上・町おこし等に繋がるイベントが創造出来ました。